

CATV番組交流ネットワークの概要

中国、四国地域のケーブルテレビ会社が連携し、各地域の観光番組等を相互に放送することで、地域の観光、地域振興に寄与することを目的に2010年10月に試験運用を始め、2011年4月から本格運用している。

タイトルの「ぐるぐる」は、域内を観光番組がぐるぐる回転していくことで、地域に浸透し、密着。観光情報が広く市民に伝わることを狙っている。現在「ぐるぐる中四国」「ぐるぐる関西」で放送している。

交流ネットワークへの加入状況

- ・幹事社は尾道ケーブルテレビ。本社内に運用サーバーを設置している。
- ・中国、四国地域のケーブルテレビ会社でスタートし、その後、近畿のケーブルテレビ会社が参加。九州の1社は準会員として参加している。現在21社が参画、今後さらに増える見込み。
- ・21社のコミュニティ番組で放送しており、視聴可能世帯は約146万3000世帯。
- ・会費は参加初年度が月間5000円、2年度以降は月間3000円。

工夫した点

- ・参加ケーブルテレビ会社が利用しやすいようなフォーマットに限定した。
- ・幹事会社の尾道ケーブルテレビにサーバーを設置し、会員社がアクセスし、交流番組のアップロード、ダウンロードを簡単にできるように、ネットワーク専用のホームページ(<http://www.guruguru-catv.net>)を介しての番組交換を可能にした。
- ・番組は「定期交換番組」と「自由交換番組」に分け、定期は参加会社の放送はマスト、自由は放送の是非は自由となっている。
- ・14分番組に、2分のCM枠を設け、参加社が自由に設定、CM収入が得られるようにしている。
- ・HD、SD両方の番組に対応できるようにした。

放送の効果

- 自社で制作する観光番組は自社ネット内での放送だったが、広域での放送となった結果、番組価値が向上。行政や観光協会からは、「遠隔地からの観光客が増えている」と好評。
- 視聴者からも「市域内の観光番組だけでなく、近隣の観光情報に接することで、観光面での行動範囲が広がり、各地域のケーブルテレビ会社の制作らしく、細やかな地域情報が随所に見られ、見ていて楽しい」との高い評価を受けている。特に若者に人気がある。
- さくらの開花リレー放送やグルメ競演などの共同制作にも発展している。

今後の課題

- 定期交換番組は参加ケーブルテレビ会社が交代で毎月2本アップロードしており、これまでは半年に1本は順番が回ってきたが、参加会社が増えたことで、1年に1本前後の順番になり、タイムリーな観光情報が提供できなくなる恐れがあり、今後は月間のアップロード番組数を増やす必要が出そう。
- 自由交換番組の番組数が少ないので、広告料金込みの番組の開発などで、番組本数の増加策も喫緊の課題となりそう。
- 来年以降、ニュース交換の試験的に始める計画。

参加ケーブルテレビ会社一覧と役員体制

- (株)中海テレビ放送、山陰ケーブルビジョン(株)、出雲ケーブルビジョン(株)、石見銀山テレビ放送(株)、石見ケーブルビジョン(株)、真庭いきいきテレビ、岡山ネットワーク(株)、(株)倉敷ケーブルテレビ、尾道ケーブルテレビ(株)、(株)ふれあいチャンネル、(株)周防ケーブルネット、中讃ケーブルビジョン(株)、今治シーエーティービー(株)、(株)ベイ・コミュニケーションズ、姫路ケーブルテレビ(株)、BAN-BANテレビ(株)、日本海ケーブルネットワーク(株)、(株)アイ・キャン、(株)三次ケーブルビジョン、香川テレビ放送網(株)、南九州ケーブルテレビネット(株)
- 役員構成＝代表幹事、沖田康尚(尾道ケーブルテレビ社長)◇幹事＝吉井健二(岡山ネットワーク営業部課長)、井原卓也(BAN-BANテレビ編成制作部次長)、多久和隆(山陰ケーブルビジョン番組制作課係長)、井原太一郎(中讃ケーブルビジョン経営企画部次長)◇監事＝伊藤亨(倉敷ケーブルテレビ放送制作部次長)、安里隆司(出雲ケーブルビジョン企画制作部長)◇事務局長＝福間伸二(予定・尾道ケーブルテレビ顧問)